



「着物は人を穏やかに」。 和装の魅力を伝えたい

日本の心と美の祭典「全日本きもの装いコンテスト / きものフェスティバル世界大会」が、4月3日、東京都内で開かれ、川上桂子さん（三谷）が、留め袖の部で第1位に輝きました。

そんな川上さんに、日本の伝統文化である和装の魅力や素晴らしさ、受賞の喜びなどを聞きました。

家族や地域に支えられて 和装の魅力を再発見

—はじめに、川上さんが受賞されたこの大会について教えてください。

この大会は、鏡のない舞台で着物を数分で着装し、その技術や立ち居振る舞いの美しさだけでなく、教養なども競うもので、昭和47年から44年目を迎える伝統ある大会です。

女性、男性、子どもの部のほか、外国人の部などもあり、女性の部はさらに振り袖、留め袖、カジュアルの3部門に分かれています。大会には、全国の予選

を勝ち抜いた2000人余りが出場しました。

私は、19歳のころから米子市の装道の教室に通い始め、着装の技術や作法などを習ってきました。これまで、振り袖やカジュアルの部での出場経験はあったのですが、留め袖の部での出場は初めてでした。



▲表彰式の様子（右から2人目が川上さん）

—出場にあたって苦労されたことなどはありますか。

やはり練習が大変でしたね。大会では、約4〜5分で着装するのですが、留め袖は着物の中で一番格が高いものから、一番しぐさ一つ一つの中心に「品」がなければいけません。そうした「品のあるしぐさ」を身に付けるのに苦労しました。

また、週に2回ほどは先生のところで練習しますが、あとはすべて自主

練習です。子どもたちが寝た後など、ストッブウォッチ片手に猛練習の日々でした。

—大会では教養美を競うスピーチもあるそうですね。どんな話をされたのですか。

「装道について」というテーマでスピーチを行いました。装道では『愛美礼和』（和装に込められる人間が理想とする四徳）という精神が説かれています。私が大会に出場できたのは、家族はもちろんのこと地域の人も、たくさんの方のサポートがあったからです。そのことこそがまさに『愛美礼和』の精神であると改めて感じたことを話しました。今回の受賞は家族や地域の皆さんの応援があったおかげなので、とても感謝しています。

「着物は身近なもの」。

和装の素晴らしさを伝えたい

—川上さんにとって和装の魅力とは何ですか。

洋装と違い、和装は、身に付けることで「人を穏やかにする」ところでしようか。着物自体はふわっとしています。帯を締めることで心まで引き締まります。私はそれ

を「きものマジック」と呼んでいます。実際、大人だけでなく子どもまでも歩き方がおしとやかになりますから。

—最近、日本人や若者の着物離れが進んでいます。が、どう感じていますか。

若い人にはもっと和装の魅力や素晴らしさを知ってもらいたいですね。そのためには、自分が実際に着て人に見てもらうことが一番だと考えています。実際、七五三などの行事には子どもたちと一緒に和装で参加するなど着物を着る機会をつくっています。

「着物は特別なものでなく身近なもの」と感じてもらうことが大切です。そのためにも、今回の受賞で多くの人が少しでも和装に興味をもってもらえたらうれしいですね。



▶4月8日には景山町長へ受賞を報告

魅力再発見！—日野町滝山公園—

「四季のうつろい、美しさをお届けします」

▼滝山公園復活プロジェクト始動

毎年、春になるとミツバツツジや八重桜が咲き乱れ山肌をピンク色に染め上げるほか、夏は谷川の涼、秋の紅葉と四季折々の風景が楽しめる滝山公園（中菅）。また、公園内には日本一小さなトンボとして知られるハッチョウトンボなどの希少な生物も生息する豊かな自然にも囲まれ、四季を通じて多くの人々が訪れます。

そんな滝山公園も、近年、ツツジの開花状況の悪化や公園施設などの安全対策といったさまざまな課題を抱えています。そこで町では、公園内を適正に維持管理することで、開花状況の改善や、自然豊かな生態系を維持し、再びツツジの名所として復活させ、その魅力を再発信していきます。



秋には金持神社までを歩く開運ウォーキングでにぎわう

▼プロジェクトの概要

滝山公園の現在の状況を確認するため、現地調査を実施。ツツジやモミジなどの植生状況、枯れ木や倒木、破損した木柵といった危険個所の確認を行いました。今後は、右表中の整備計画に基づき計画的かつ効果的に滝山公園の整備を進めていきます。

	整備内容	実施サイクル
①ミツバツツジの開花改善	ササなどの下草刈り、ツルの伐採を行う。	毎年
	高木樹の剪定を行う。	5年
	ミツバツツジの補植を行う。	毎年
②安全対策	枯れ木・倒木などからの安全性を確保するため、撤去を行う。	単年
	松枯れを予防するため、松枯れ防止剤の注入を行う。	6年
	急傾斜地での転落防止として、ロープ柵を設置する。	単年



ツツジと八重桜の競演を楽しむ

ピンク色に染まった景色を楽しむ

滝山公園つつじまつり

毎年恒例のつつじまつり（町観光協会主催）が、4月16日から5月5日まで開かれ、多くの人出でにぎわいました。

公園内には、無数のミツバツツジと八重桜が咲き乱れ、その競演を楽しもうと町内外から多くの行楽客が訪れました。

期間中は晴天に恵まれ、行楽客は、ピンク色に染まった公園内を散策したり、ツツジの下で弁当を食べたりと楽しく時間を過ごしていました。